

第10回クォーク例会報告 - 上木朋子 (2009年07月12日)

【第10回クォーク例会報告】

日時：7月11日(土) 1時～4時

場所：福井市社北公民館

参加者：7名(+子ども1名)

内容：

小森先生のDVD「カエルの解剖」

掃除をされていて見つけた宝物。

掃除を中断してついつい見入ってしまうくらいおもしろい。

そこで、サークルでみんなで見ることに。

いろいろな意味で盛り上がった。

田畑先生「英語の研修会について」

南越前町の夏休みの研修会の講師を頼まれたということで、

1時間20分(だったかな?)という長時間の研修を

どう組み立てるかという相談。

みんなで意見を出すと、結構いい講座になりそうな気になった。

田畑先生、ご苦労様!!

木村先生「採用試験の場面指導の練習」

落ち着いてゆっくり話す様子は、今までの練習の成果が

出ていると感じた。

指導内容については、現役の先生方の代案が勉強になる。

場面指導の練習は、採用試験だけでなく現役教師にも必要かも。

山本先生「小3理科：重さの導入」

天秤で釣り合っている同じ種類の2つのアルミ缶。

一方を踏みつぶすして天秤にのせるとどうなるかという導入。

石丸先生の粘土を使った授業の話がおもしろかった。

踏みつぶした缶と踏みつぶしていない缶を実際に触らせて

予想させるとよいと思った。

尾川先生「中3理科：イオンの実験」

おもしろい実験だったが、装置が別の意味でドキドキした。

公民館を借りているので、ブレーカーが落ちたらどうしようと

サークル員が緊張して見ていたような・・・。

小4の娘は、尾川先生の質問に答えられてうれしかったようで、

「中3の勉強をした」と家で自慢していた。

分かりやすい授業だった。

上木「日食の授業」(子どもTOS Sデーの授業の紹介)

7月5日(日)に行った、子どもTOS Sデーでの理科講座が
なかなか好評だったので、サークルでも紹介した。

日食の授業を、是非勤務校の子どもたちに広めて欲しい。

学期末の忙しい時期だったが、授業を持ってくる積極的な
サークル員がいてうれしかった。
いつものことだが、3時間があっという間に過ぎてしまった。